



企画展示

西いなばの遺跡展



鳥取西道路の開通によってさらに注目を集める西いなば（旧気高郡）。最新の発掘調査から明らかとなった西いなばの歴史を紐解きます！



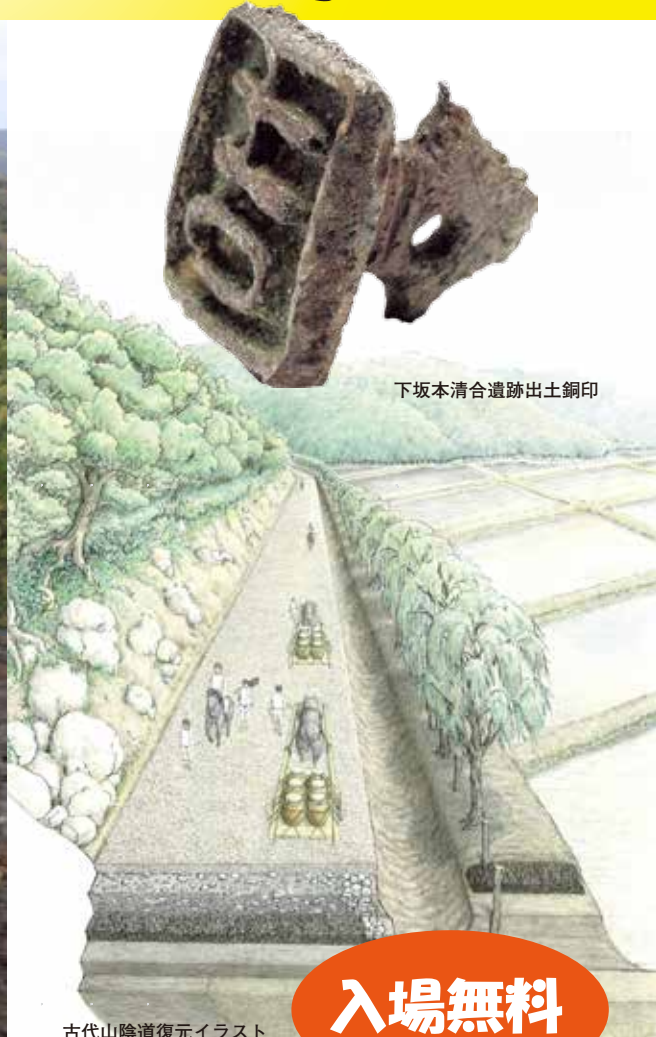
乙亥正屋敷廻遺跡



下坂清合遺跡井戸跡



常松大谷遺跡土馬出土状況



下坂本清合遺跡出土銅印

古代山陰道復元イラスト

入場無料

令和元年6月15日（土）～7月26日（金）

平日 午前9時～午後5時（※6月15日、7月6・20日（土）午後1～5時は特別開館）

会場：鳥取県埋蔵文化財センター展示室

鳥取まいぶん講座も同時開催中！

第3回 西因幡の遺跡と歴史

6月15日（土）午後1時～3時 ※午後3時から展示解説もあります。

第4回 乙亥正屋敷廻遺跡の調査成果

7月20日（土）午後1時～3時 ※午後3時から展示解説もあります。

会場：鳥取県埋蔵文化財センター研修室



乙亥正屋敷廻遺跡出土青銅器

お問い合わせ・お申し込み先

鳥取県埋蔵文化財センター

〒680-0151 鳥取市国府町宮下1260番地

TEL 0857-27-6711

FAX 0857-27-6712

ホームページ <https://www.pref.tottori.lg.jp/maibun>

メールアドレス maibuncenter@pref.tottori.lg.jp



西因幡とは、鳥取市西部、旧気高郡（青谷町・気高町・鹿野町）周辺を指し、古代では因幡国気多郡と呼ばれる地域でした。

この西因幡は古くから栄え、弥生時代の港湾集落である国史跡青谷上寺地遺跡や、奈良～平安時代には気多郡衙とされる上原遺跡群、寺内廃寺跡などが知られています。また、江戸時代初めには、朱印船貿易をした亀井茲矩が統治したことで知られています。

近年行われた、鳥取西道路の建設に伴う発掘調査では、乙亥正屋敷廻遺跡で青谷上寺地遺跡に類似した弥生集落が見つかり、青谷横木遺跡では飛鳥時代から平安時代にかけての古代山陰道や「女子群像」板絵、下坂本清合遺跡では室町時代の埋蔵銭が見つかるなど、この地域を歴史を解明していくうえで重要な成果が数多く得られています。

今回の企画展示では、最新の調査成果をご紹介します、明らかになりつつある西因幡の歴史を紐解きます。



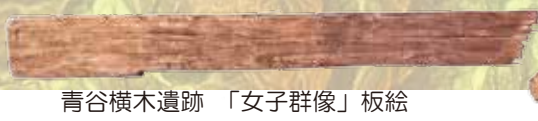
青谷横木遺跡 縄文時代の丸木舟



乙亥正屋敷廻遺跡 出土した多量の建築材



青谷横木遺跡 「女子群像」板絵復元品



青谷横木遺跡 「女子群像」板絵



会場へのご案内

車・タクシー 鳥取駅から車で約10分
(敷地内駐車場あり)

バス 日ノ丸バス
奥谷口バス停下車徒歩約5分
岩倉バス停下車徒歩約10分

日本交通バス
新町バス停下車徒歩約1分



鳥取県
埋蔵文化財
センター

